児童数配布

★ホームページでは、日常の学校生活の様子を紹介しています。≪「上小岩小学校」で検索を≫

学校だより

上小岩

令和７年　６月３０日
NO.４
江戸川区立上小岩小学校
校長　宮本 知司

「やってみよう！」と“チャレンジの夏”に

校長　宮本 知司

もう一か月も前のことになりますが、初夏の大行事である「体育学習発表会」には、本当にたくさんの保護者・地域の方々にお集まりいただき、かみっ子が全力で競技・演技に向かう姿をご覧いただきました。たくさんの応援を力にして、どの学年の子供たちもやり切った感あふれる表情でした。他校をお借りしての実施ということで多くの難しさもある中ですが、おかげさまで“大成功！”で終えることができましたことに感謝いたします。PTA役員や委員の皆さんのお手伝い、また、早朝の児童用テント(PTAの積立金により16張購入)の設営や終了後の片付けにも、たくさんの保護者や卒業生が力を貸してくださったことは大変に嬉しいことでした。これからも、「子供たちのために」という同じ思いで進んでまいりましょう。お願いいたします。

それぞれの学年で、「体育学習発表会を通じて、このような姿に育てたい」という大きな像を描き、担任は3週間余の指導を丁寧に行ってきました。

♪ 正しいより楽しい　正しいより面白い　やりたかったことやってみよう　失敗も思い出
はじめよう やってみよう　誰でも最初は 初心者なんだから
やったことないことも やってみよう　苦手な相手とも 話してみよう
知らなかったこと 見たことないもの あたらしい 楽しい ♪

これは、４年生の表現運動で用いた『やってみよう』という曲です。子供たちは、幾度も繰り返される「トライ！トライ！」や「やってみよう！」のフレーズを口ずさみながら、リズミカルななわ跳びの演技を次々と行っていきました。「なわ跳びを得意とする子供たちが少ない中で、あえてなわ跳び演技をすることに決めた」「今年度最初の大きな行事で、前向きな気持ちでやってみよう！と挑戦し互いを高め合う成長を子供たちの自信につなげたい」と、両担任はその思いを『学年だより』を通して真っ直ぐに伝え、保護者の協力も得ました。練習初期には、あまりにも早いテンポの曲についていけない子も多くいて、「動きを変えたらどうだろう」と心配な場面もありましたが、「もう一回やってみたい!」という子供たちの意欲は続き、本番での見事な演技につながりました。どの学年でも“子供たちの頑張り”は輝き、何より嬉しいことでした。

この「何でもやってみよう！」という元気な気持ちは、子供たちの成長にとって欠くことのできないものです。「やりたいこと、やったことがないことをやってみる」「話したことがない人と話してみる」、そして「失敗もいい思い出だ」と考える…。

これから迎える40日余りの夏休みは、そんな「やってみよう」の思いを実現する絶好の時間です。日頃はどうしても決められたことや与えられたことをこなす場面が多くなってしまいますが、「何か」に向き合い「何か」にチャレンジできる夏となるよう、ご家庭でもどうかお声掛けください。